

# 社長の頭の中

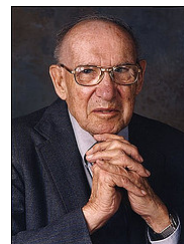
The Truth of management  
by Hiromasa Hidari

ドラッカー名言録

「経営管理の96%は、ルーティーン的な定例反復業務であることを、ゆめ忘れてはならない」

(裏面に解説！)

VOL.84. 2013. 7月号



## 「親父の手」

スイッチ ON!! 猛暑すぎる。。熱中症にはくれぐれもご注意ください。また、湿気も多いのでどの渴きは少ないです。お客様への水分コントロールもしっかりお願いします。

そして！介護甲子園も二次選考が始まります。ぜひ、インターネット投票になりますのでみなさんの投票をお待ちしております。

さて、看板のない居酒屋で有名な岡村浪漫さんのメルマガからの抜粋です。

あなたはどんな感情で感じて動きますか？

最近、講演でよくお話しさせてもらうのですが、「親と手をつないでみてください」と言います。

先日、親父と40年ぶりくらいに手をつないだ時、なぜか涙がでてきました。

そしてなぜか、少し自分がやさしくなれ、心が豊かになれた気がしたからです。

去年の暮れ、八歳になる息子と、イルミネーションを見に行きました。

イルミネーションの下を、手を繋ぎ歩きながら色々考えました。

「来年もまたここへ来て、手を繋いで歩けるかな…」

「来年はまだ小学校三年だから、まだ繋いでくれるかな…でも、再来年は五年生だから…だめかな…」

「こいつが二十歳になったら一緒に酒呑みたいな…」

その時気付きました。

「俺の親父も俺が子供の頃同じように思ったんだ…」

考えてみると親父と二人きりで、酒を呑んだ事は一度もありません。

もちろん、小学生の頃から何十年も手を繋いだ事などありません。

48歳になる自分でも80歳になる父にとっては永遠に子供…

きっかけを作り、手を繋いでみよう…

そう思いました。

二人で親父の好きな八代あきのコンサートに行き、その後 居酒屋で呑みました。

酔った親父を介抱する振りをして、手を繋いでみました。

昔より小さくなってしわになってやわらかくなった手がそこにありました。

その瞬間、自分でもわからないくらい涙があふれでてきました。

自分はその日から、少しやさしい人間になれた気がします。

親と手を繋いでみてください。



フェイスブック始めました。左  
お友達申請お待ちしております。

敬真

